

道徳の授業を参観される皆様へ（3年生）

資料名「ウサギ」

～自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ～

資料の内容は

主人公の小学校に、転校生がやってきます。学力も高く運動神経もよい転校生に対して、主人公は嫉妬心がうまれ、いたずらをしてしまします。しかし、いたずらを実行した直後から主人公は色々なことを考え、後悔の念にかられてしまいます。最終的にいたずらは公にならず、主人公の浅はかな判断や行動から、正しい判断と行動について考えていきます。

授業のねらいは

文部科学省教材「私たちの道徳」を授業の始まりと終わりで使い、自律することとはどういうことか、正しい判断や行動をするためには、何を大切にしなければならないか、ということに注目しながら授業を進めています。主人公の視点から、自分の行動が及ぼす結果について、よく考えて判断や行動することの大切さや責任感を育て、将来の生き方につなげていきます。



協議会では

授業の後、視聴覚室で協議会を行います。

協議会のテーマは、「生徒の思考を深める発問の工夫について」と生徒の「思慮深い判断、責任」です。ぜひご参加ください。